

## 編集 後記

新年あけましておめでとうございます。2024年1月から引き続き編集委員長を務めることになりました上原里程です。編集委員の交代に伴い新たに9名の編集委員を迎え新体制となりました編集委員会で、公衆衛生の発展に寄与する学術雑誌を目指して参りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、第71巻第1号では原著2編、公衆衛生活動報告1編、資料1編の計4編を掲載しています。宮脇らは、医療・健康分野における健康情報を収集する能力とともに双方向性に対応した多様な能力の両方を評価する尺度として欧米で開発された Digital Health Literacy Instrument (DHLLI) の日本語版を作成し、その妥当性と信頼性について検討しています。本尺度が本邦におけるデジタルヘルスリテラシーの研究で広く活用されることが期待されます。亀尾らは、地域在住中高年尿失禁女性を対象として非対面の歩行や筋力トレーニング指導による尿失禁の頻度、量および QOL 改善効果を検討しています。非対面による指導でも介入効果が示唆される内容であり、効果的な指導方法の選択肢が広がる可能性を示しています。

横山らは、全国保健所長会の公衆衛生医師確保育成事業として実施された、医学生就職活動におけるインターネットサービスの活用状況調査結果に基づき作成した動画による公衆衛生医師の確保に向けた広報活動を、公衆衛生活動報告として報告しています。各自治体や大学や医療機関との連携を深めることで医学生や臨床医における情報源の認知度が向上し、動画による広報の効果が高まることが期待されます。緒方らは、地域における3か月児健康診査のデータを活用し、経済不安と乳児を育てる母親の心理的側面との関連を検討しています。3か月児健康診査時に母親に経済不安があることは、孤独を感じる、不安を感じる、子どもとの生活にイライラするという心理状態と関連しており、経済不安がある母親への支援の必要性を考察しています。

本誌では質の高い原著論文はもとより、現場実践に役立つ公衆衛生活動報告も数多く掲載したいと思っておりますので、会員の皆様には自治体等現場での取り組みなどを公衆衛生活動報告としてご投稿くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。(上原里程)

## 次号予告 (第71巻・第2号)

### 原著

妊娠期の関わりと産後の地域専門職への信頼と援助要請先の認知：JACSIS 妊産婦データ2020-2021を用いた検証……………松島みどり, 他

### Public Health Report

Development of a partnership between academia, community, and government in response to the 2022 mpox outbreak in Japan  
……………Mio KATO, et al

### 資料

北海道における幼児の肥満および生活習慣と家庭・近隣環境との関連……………高橋彩華  
第1波から第5波までの COVID-19 感染者の特徴と経過：東京都一行政区のデータより  
……………土方奈々, 他